

集落元気かわら版

発行所 〒650-8567
 神戸市中央区下山手通5-10-1
 兵庫県ビジョン担当課内
 「集落元気応援隊」
 TEL 078-362-4314

千町

(宍粟市)



今回からは、モデル集落の資源や特徴、元気作戦の取組などをご紹介します。

元気作戦のHPも見てくださいね。

<http://shoukiboshuuraku.web.fc2.com/>

元気作戦始まる



千町集落は、宍粟市の北東部、標高約650mに位置します。夏でもクーラーはいらないとのこと。公民館にいと川のせせらぎが常に聞こえてきます。

まずは「ご当地の現状を再認識する」ということで、9月8日、役員さんの参加のもと、意見交換会を開催しました。

アドバイザーの小林博嗣さん(地域再生研究センター)の進行のもと、地域資源の再確認、集落で困っていること、昔と大きく変わったことなど意見を出し合いました。

〔地域資源〕

- ・宍粟50名山で千メートル級の千町ヶ峰、段ヶ峰、笠杉山、大段山、杉山が連なっている。
- ・段ヶ峰の岩塊流がすばらしい。氷河期のものといわれ、地質学的にも貴重である。
- ・クジラ石と呼ばれる、鯨に似た巨石がある。
- ・魚類は5種程度(アマゴ、ウナギ、ハイジャコ等)、鳥類はキジ、ヤマドリなどが見られる。
- ・スギ・ヒノキの人工林は良質である。オオミズナラ(巨木)がある。
- ・冬の景観が美しい(雪景色)。樹氷が見られない。

〔歴史・文化資源〕

- ・若一神社の獅子舞(秋祭り、10月15日)が傳承されている。
- ・若一神社の玉垣が自然石で造られており、あまり例にないものである。
- ・江戸時代は生野代官所の管轄で、生野からの街道筋であった。昔は宿もあった。

〔その他活性化施設〕

- ・しそ森林王国ミニ拠点施設が整備された。
- ・直売所「いろりの里」があるが、現在は運営されていない。

〔集落で困っていること〕

- ・千町ヶ峰、段ヶ峰は千町側の降り道が分かり難く、登山客が利用しない。
- ・伝統行事などの傳承が難しくなっている。獅子舞の“舞”も種類が減っている。
- ・店舗は無いが、移動販売が来る(COOP)。
- ・空き家は、定期的に帰省や活用しているものも含めて4、5軒ある。
- ・ほとんどが人工林。森林が荒れてきている。このため、シカ、サルなどの獣害被害が多い。
- ・基幹農道の工事も含め、森林や河川が荒れてきている。元に戻るまでに、相当の年月が必要であろう。
- ・冬期の通行が困難。除雪は行き届いている。
- ・人口減少で、(地元企業の)従業員の確保が困難である。
- ・高齢者の独居世帯が増えている(5世帯)。
- ・携帯はソフトバンクのみ電波が入る。
- ・耕作放棄地があるが、受け手がない。千町には7haの農用地があるが、うち水田としては2haくらいが耕作されているのみで、多くが遊休化している。米も多くの家庭が購入している。

「まず」今あるものを活かす無理のない交流”を考える。」これをテーマに取り組んでいきましょう。

次回は9月28日、岩塊流を見るついでに、杉山(1,088m)に登ることとなりました。楽しみだな!



稲穂がきれいでした

「香櫨園歩こう会」(西宮市)にも ご参加いただきました

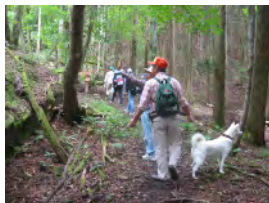
9月28日(日)寒い朝でした。せっかくの機会ですので、元気作戦の都市パートナーとして応募のあった「香櫨園歩こう会」のメンバー4名にもご参加いただきました。ありがとうございました!

同会は、正しい歩き方を身につけ、いつまでも歩き続けることができる体づくりに努めています。熊野古道の踏破にもチャレンジ中。平均年齢70歳で、会員は約100名。皆さん元気に活動されています!

元気作戦でもいち早くパートナーとして手を挙げていただき、「どこでもいくで」と森代表の力強いお言葉をいただきました。

さあ、出発です!

午前11時、総勢16名+1匹、藤原区長の先導で、しそ森林王国のミニ王国拠点施設をスタートしました。



ワンちゃんもご同行

寒い日でしたが、徐々に汗もかいてきました。確かに林の中では癒されるような気がしました。

30分ほど歩くと景色が変わってきました。「なんか岩がふえてきたぞ。」これが岩塊流です。大きさは1~4m、最大8mに及ぶ岩塊が

数層にわたって重なっています。全長600mにわたって連なっているとのこと。



これらは氷河期にできたとのこと。岩の割れ目に入った水が凍ることで岩を砕き、それがズルズルと山裾を流れて形成したと言われています。



千町の岩塊流は県下でも最大級のものとされています。「くじら石」と呼ばれる巨石もありました

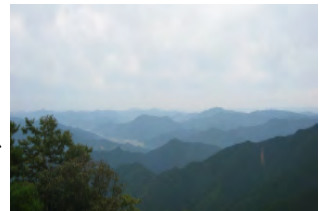
「くじら石」と呼ばれる巨石もありました

杉山山頂(1,088m)に到着です!

「すごい地域資源があるじゃないですか」と関心しながら足を進めました。



12時半頃、ようやく杉山山頂に到着しました。とりあえず、記念撮影。山頂からは絶景が広がっています。しかし、寒い~! 谷に下りてお昼ご飯にしました。



下山、意見交換

帰りは尾根沿いに帰りましたが、急勾配の下り坂が続きました。落ち葉も手伝って、しりもち続出。慎重に下山しましょう。

拠点施設に戻り、みんなで意見交換を行いました。次のような意見が出ました。

- ・下りは整備されていないため滑りやすかった。
- ・山に登りたいと思わせるような魅力が必要。
- ・植物の名称などを示す案内板がない。最近の登山客は女性が多いので植物に興味があるのでは。
- ・岩塊流は魅力があると思う。岩の上を歩くことができたり、触れられる工夫があればよい。
- ・どのような人を呼び込むのか。ターゲットを絞ることも必要ではないか。
- ・夏が涼しいのであれば、避暑地として利用できるではないか。
- ・地元の女性の現金収入につながるもの、女性が出来る取組みがよいのではないか。
- ・農産物の直売を通じた交流が可能かと思う。そのなかで、都市住民から様々なアイデアをもらうことができるかもしれない。
- ・地元の祭りなどをアピールして、都市住民にも気軽に参加してもらえたらよい。

様々な意見が出ましたが、すべてのことはできません。「まず”今あるものを活かす無理のない交流”を考える」です。

できることしかできません。無理をしないよう少しずつ前に進んで行きましょう!